



## 平成25年11月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年4月8日

上場取引所 東 名

上場会社名 株式会社サーラコーポレーション

コード番号 2734 URL <http://www.sala.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 神野吾郎

問合せ先責任者 (役職名) 総務部総務グループマネージャー

(氏名) 武川裕樹

TEL 0532-51-1182

四半期報告書提出予定日 平成25年4月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年11月期第1四半期の連結業績(平成24年12月1日～平成25年2月28日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年11月期第1四半期	33,228	2.4	850	9.6	920	4.2	537	183.1
24年11月期第1四半期	32,448	0.9	775	11.1	883	34.7	189	△55.0

(注) 包括利益 25年11月期第1四半期 783百万円 (256.4%) 24年11月期第1四半期 219百万円 (△55.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年11月期第1四半期	13.97	—
24年11月期第1四半期	4.94	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年11月期第1四半期	98,653	27,739	27.0
24年11月期	96,929	27,192	26.9

(参考) 自己資本 25年11月期第1四半期 26,673百万円 24年11月期 26,106百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年11月期	—	5.00	—	6.00	11.00
25年11月期	—	—	—	—	—
25年11月期(予想)	—	5.00	—	5.00	10.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年11月期の連結業績予想(平成24年12月1日～平成25年11月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	75,000	3.0	2,050	1.8	2,200	1.2	1,100	3.5	28.61
通期	139,000	1.2	1,950	15.9	2,200	10.6	1,250	27.1	32.51

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年11月期1Q	40,338,708 株	24年11月期	40,338,708 株
② 期末自己株式数	25年11月期1Q	1,893,733 株	24年11月期	1,893,533 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年11月期1Q	38,445,127 株	24年11月期1Q	38,448,953 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は実施中でありませ

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) セグメント情報等 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政権交代等にもなう円安の進行や株価の上昇など、景気回復の兆しは見られ始めましたものの、欧州債務問題等海外経済の動向に関する懸念もあり、景気の先行きは依然として不透明な状況で推移しました。

当社グループを取り巻く環境につきましては、LPガスの原料価格が高水準で推移したこと、輸入車市場が堅調でありましたこと、畜産物市況が低迷したことなどが事業活動に影響を及ぼしました。

このような状況の中、当社グループは第4次中期経営計画（平成23年11月期～平成25年11月期）の完遂を強く意識し、既存事業のさらなる強化と新分野・成長分野への取組みを強力に推進しております。

その一環として、グループの注力分野との位置づけを明確にしたリフォーム事業については、サーラグループにおけるリフォーム事業の戦略立案や計画策定を担い、グループ横断的に事業を推進する「リフォーム本部」を平成24年12月に株式会社リビングサーラに設置しました。

また、地域のお客さまとの接点の一層の強化を図るため、ガステックサービス株式会社において、平成25年1月に「サーラプラザ御殿場」を、同2月に「サーラプラザ安城」をそれぞれリニューアルオープンしました。

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、主力のエネルギーサプライ&ソリューション事業においてLPガス売上高が増加したこと、エンジニアリング&メンテナンス事業において土木部門が順調に推移したこと、カーライフサポート事業において輸入車販売台数が伸長したことなどにより、売上高は前年同期比2.4%増の33,228百万円となりました。一方、売上総利益は前年同期比1.4%減の7,691百万円となりましたが、販売費及び一般管理費は前年同期比2.6%減の6,841百万円となりましたので、営業利益は前年同期比9.6%増の850百万円、経常利益は前年同期比4.2%増の920百万円となりました。また、法人税等費用が前年同期比41.0%減の419百万円となりましたことなどにより、四半期純利益は前年同期比183.1%増の537百万円となりました。

セグメント別の概況は次のとおりです。

#### エネルギーサプライ&ソリューション事業

売上高18,658百万円（前年同期比4.9%増）、営業利益1,245百万円（前年同期比3.8%増）

主力のLPガス販売で家庭用及び卸売の販売量が増加したことにより、全体の売上高、営業利益とも増加しました。また、リフォーム部門では、「リフォーム本部」が中心となり、グループ連携の取組み強化や担当者の教育・研修を充実させることで、リフォーム事業の基盤強化を推進しました。

#### エンジニアリング&メンテナンス事業

売上高5,022百万円（前年同期比3.2%増）、営業損失195百万円（前年同期は営業損失276百万円）

土木分野では大型の港湾工事及び道路工事が完工したこと、また、設備分野では工場施設等短工期物件の獲得に努めたことなどにより、それぞれ売上高が増加しました。これらにより、全体の売上高は増加し、営業損失は縮小しました。

#### カーライフサポート事業

売上高3,589百万円（前年同期比13.7%増）、営業利益170百万円（前年同期比9.8%増）

輸入車販売部門では、新型車を中心に積極的な広告宣伝や販促活動を行い、既存オーナーに対するフォローの徹底や新規顧客の集客に努めました。また、ディーラーネットワークのさらなる拡充を目指して平成24年10月に新規出店した「フォルクスワーゲン富士」は順調なスタートを切ることができました。これらにより、販売台数、売上高、営業利益とも増加しました。

#### アニマルヘルスケア事業

売上高4,366百万円（前年同期比12.2%減）、営業損失99百万円（前年同期は営業損失47百万円）

動物用医薬品やワクチンの販売は提案型営業の徹底により、前年並みの成果を上げることができましたが、療養食の販売は大手得意先への販売減により減少しました。これらにより、全体の売上高は減少し、営業損失は拡大しました。

#### ホスピタリティ事業

売上高553百万円（前年同期比3.6%増）、営業損失102百万円（前年同期は営業損失118百万円）

お客さまのニーズに応える魅力的なプランの提供などにより、ブライダル部門では施工組数が増加するとともに組当たり単価が上昇し、宴会部門では宴会組数が増加しました。また、宿泊部門では、ホテルアークリッシュ豊橋の客室稼働率が上昇しました。これらにより、売上高は増加し、営業損失は縮小しました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債、純資産の状況

(資産)

資産は98,653百万円と、前連結会計年度末と比較して1,723百万円増加しました。これは主に、「仕掛品」が未成工事支出金の増加などにより2,515百万円増加したこと、「商品及び製品」が674百万円増加したことに対し、「有形固定資産」が減価償却などにより511百万円減少したこと、「受取手形及び売掛金」が1,042百万円減少したことによるものであります。

(負債)

負債は70,913百万円と、前連結会計年度末と比較して1,176百万円増加しました。これは主に、「短期借入金」が1,000百万円増加したこと、「支払手形及び買掛金」が249百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

純資産は27,739百万円と、前連結会計年度末と比較して547百万円増加しました。これは主に、「利益剰余金」が、四半期純利益の計上により537百万円増加し、配当の実施により231百万円減少したこと、「その他有価証券評価差額金」が260百万円増加したこと、「少数株主持分」が19百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年11月期第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、平成25年1月11日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年12月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更による損益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,933	7,774
受取手形及び売掛金	20,168	19,126
商品及び製品	4,152	4,827
仕掛品	2,716	5,231
原材料及び貯蔵品	190	226
繰延税金資産	833	721
その他	3,198	3,391
貸倒引当金	△271	△239
流動資産合計	38,921	41,058
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	17,552	17,263
機械装置及び運搬具（純額）	2,058	2,003
導管（純額）	1,950	1,896
土地	22,447	22,401
建設仮勘定	9	22
その他（純額）	2,973	2,892
有形固定資産合計	46,991	46,480
無形固定資産		
のれん	390	330
その他	1,910	1,853
無形固定資産合計	2,300	2,184
投資その他の資産		
投資有価証券	3,756	4,095
長期貸付金	509	502
繰延税金資産	2,273	2,170
その他	2,543	2,525
貸倒引当金	△366	△364
投資その他の資産合計	8,716	8,929
固定資産合計	58,008	57,595
資産合計	96,929	98,653

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年2月28日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,822	17,072
短期借入金	14,120	15,120
1年内返済予定の長期借入金	6,430	7,520
未払法人税等	427	207
賞与引当金	1,372	1,010
役員賞与引当金	9	5
完成工事補償引当金	16	14
工事損失引当金	112	170
ポイント引当金	106	106
その他	7,425	7,821
流動負債合計	46,843	49,049
固定負債		
長期借入金	12,546	11,590
繰延税金負債	137	141
退職給付引当金	6,285	6,292
役員退職慰労引当金	519	485
修繕引当金	29	30
その他	3,375	3,324
固定負債合計	22,893	21,864
負債合計	69,737	70,913
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	8,025	8,025
資本剰余金	9,019	9,019
利益剰余金	9,826	10,132
自己株式	△953	△953
株主資本合計	25,917	26,223
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	188	449
その他の包括利益累計額合計	188	449
少数株主持分	1,086	1,066
純資産合計	27,192	27,739
負債純資産合計	96,929	98,653

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年12月1日 至 平成24年2月29日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年12月1日 至 平成25年2月28日)
売上高	32,448	33,228
売上原価	24,646	25,536
売上総利益	7,801	7,691
販売費及び一般管理費	7,025	6,841
営業利益	775	850
営業外収益		
受取利息	4	4
受取配当金	6	3
負ののれん償却額	0	0
持分法による投資利益	77	28
その他	130	118
営業外収益合計	218	155
営業外費用		
支払利息	100	80
その他	11	5
営業外費用合計	111	85
経常利益	883	920
特別利益		
固定資産売却益	18	34
特別利益合計	18	34
特別損失		
固定資産除売却損	12	14
特別損失合計	12	14
税金等調整前四半期純利益	889	940
法人税、住民税及び事業税	252	267
法人税等調整額	457	152
法人税等合計	710	419
少数株主損益調整前四半期純利益	178	521
少数株主損失(△)	△10	△15
四半期純利益	189	537



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年2月29日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年2月28日)
少数株主損益調整前四半期純利益	178	521
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	41	261
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	0
その他の包括利益合計	40	262
四半期包括利益	219	783
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	229	798
少数株主に係る四半期包括利益	△9	△14

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成23年12月1日至平成24年2月29日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	エネルギー サプライ& ソリューション事業	エンジニア リング&メ ンテナンス 事業	カーライフ サポート事 業	アニマルヘ ルスケア事 業	ホスピタリ ティ事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	17,791	4,867	3,156	4,970	533	31,320	1,127	32,448	—	32,448
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	399	357	15	0	11	785	282	1,067	△1,067	—
計	18,191	5,225	3,172	4,971	545	32,106	1,410	33,516	△1,067	32,448
セグメント利益又は セグメント損失 (△)	1,200	△276	155	△47	△118	912	19	932	△156	775

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車部品製造、割賦販売及びリース等を含んでおります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△156百万円には、セグメント間取引消去53百万円、全社費用△209百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 平成24年12月1日 至 平成25年2月28日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	エネルギー サプライ& ソリューション事業	エンジニア リング&メ ンテナンス 事業	カーライフ サポート事 業	アニマルヘ ルスケア事 業	ホスピタリ ティ事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	18,658	5,022	3,589	4,366	553	32,189	1,038	33,228	—	33,228
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	369	293	30	0	9	703	224	928	△928	—
計	19,028	5,315	3,620	4,366	562	32,893	1,263	34,156	△928	33,228
セグメント利益又は セグメント損失 (△)	1,245	△195	170	△99	△102	1,018	△44	974	△123	850

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車部品製造、割賦販売及びリース等を含んでおります。
2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△123百万円には、セグメント間取引消去82百万円、全社費用△206百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

「会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更」に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年12月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

なお、この変更によるセグメント損益に与える影響は軽微であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。